

1. 研究課題名

多発性骨髄腫患者における4剤治療が幹細胞採取に与える影響

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、多発性骨髄腫の治療として、4剤治療（抗CD38抗体[サークリサ・ダラキューロ]、ボルテゾミブ、レナリドミド、デキサメタゾン[レナデックス]）の治療を行ない、幹細胞採取を施行した患者さんを対象に電子カルテからの診療情報を得て、幹細胞採取について検討します。4剤治療後にどの程度の患者さんでどの程度幹細胞採取が可能かどうかを解析することがこの研究の主目的となります。このことでより適切な幹細胞採取の戦略が可能になることが期待されます。

研究期間は承認日から2029年03月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2025年01月から2027年12月の間に、化学療法・免疫療法を受けた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) 多発性骨髄腫のサブタイプ
- 4) 多発性骨髄腫の治療歴
- 5) 既往歴
- 6) 治療内容と治療の奏効
- 7) 幹細胞採取数と幹細胞採取方法
- 8) 治療開始時の臓器障害

などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

診療記録から得られた情報において、個人を識別できる情報は削除いたします。ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報なのか、後からでもわかるように管理をいたします。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 血液内科 菊池 拓（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：血液内科 菊池 拓